



# 学校だより 11月

令和3年10月29日

横浜市立芹が谷南小学校

## 子どもたちの思いを胸に ～後期のスタート～

学校長 高木 篤子

10月11日から後期が始まりました。全校一斉に始業式を迎えることは今まで当たり前のことのように思っていたのですが、分散登校を経て、改めて喜ばしいことと感じました。

10月15日の創立記念式では、5年生が動画を編集して、学校の歴史を分かりやすく紹介しました。よく調べていて、全校児童が興味関心をもって聞くことができました。

6年生は学校生活の中で感じていることや、これからの学校への思いをしっかりと発表しました。

挨拶が響く学校のよさを卒業後も継続してほしいと伝えてくれました。

6年生になった今年、あいさつ運動で正門に立つ機会がありました。自分一人では普段なかなか積極的にあいさつすることができませんでしたが、友達と一緒に声をかけることで、学年関係なく、みんなに元気よくあいさつをすることができました。

元気よくあいさつをすると、元気なあいさつが返ってきました。とても気持ちがよかったです。小さな声のあいさつを聞くと、ぼくは自分が照れて声をださなかった頃を思い出しました。でも今のぼくは、あいさつ運動がきっかけで自信をもち、変わることができました。

あいさつ運動という自分から笑顔であいさつをする取組は、芹南のよさであり、これからも続けていってほしい活動です。残りの学校生活でも、あいさつを積極的にしていきたいです。そして、自分が卒業した後も、10年後も20年後も元気なあいさつが芹が谷南小学校にひびきわたってほしいです。

学校の好きなどころと、未来へつなげたい個性・助け合いを伝えてくれました。

私は芹南が好きです。特に先生が親しみやすく明るい方が多いことが、いいなと思います。先生はいつも向き合ってくれるので、苦手なこともがんばろうという気持ちになります。また、私は教室での明るいふんい気も好きです。仲が良く、それぞれの個性を出し合っているところがいいと思います。

一人一人が意見をもち、伝え合い認め合える学校は、個性を出しやすいと思います。助け合うことで学校が明るくなり、仲も深まると思います。よく考えると、私の好きな教室での明るいふんい気は、自分も含めてこの学校で生活しているみんなでつくっているものだ気がつきました。

後期になり、卒業まで半年を切りました。残りの小学校生活でも、個性を出し合って、友達との助け合いを大切に過ごしていきたいです。そして、一人一人の個性が光る・助け合いができる芹南を未来につないでいってほしいと私は思います。

後期は、芹南ピック、社会科見学や遠足、修学旅行や宿泊体験学習など、行事での活躍の場が増えそうです。11月に入ると、卒業・進級まで残り5ヶ月。お二人が伝えてくれたように、元気なあいさつから一日を始め、個性を生かして共に助け合うよさを大事にしていきたいです。

